

平成 28 年度 病院事業決算状況

都道府県名 宮城県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	循環器・呼吸器病センター（地方独立行政法人宮城県立病院機構）	2	大崎市	大崎市民病院岩出山分院	20
-	精神医療センター（地方独立行政法人宮城県立病院機構）	3	大崎市	大崎市民病院鹿島台分院	21
-	がんセンター（地方独立行政法人宮城県立病院機構）	4	蔵王町	蔵王町国民健康保険蔵王病院	22
-	こども病院（地方独立行政法人宮城県立こども病院）	5	川崎町	国民健康保険川崎病院	23
仙台市	市立病院	6	丸森町	丸森町国民健康保険丸森病院	24
石巻市	石巻市立病院	7	涌谷町	涌谷町国民健康保険病院	25
石巻市	石巻市立牡鹿病院	8	美里町	美里町立南郷病院	26
塩竈市	塩竈市立病院	9	女川町	女川町立病院	27
気仙沼市	気仙沼市立病院	10	南三陸町	南三陸病院	28
気仙沼市	気仙沼市立本吉病院	11	白石市外二町組合	公立刈田総合病院	29
登米市	登米市立登米市民病院	12	黒川地域行政事務組合	公立黒川病院	30
登米市	登米市立米谷病院	13	加美郡保健医療福祉行政事務組合	公立加美病院	31
登米市	登米市立豊里病院	14	みやぎ県南中核病院企業団	みやぎ県南中核病院	32
栗原市	栗原市立栗原中央病院	15			
栗原市	栗原市立若柳病院	16			
栗原市	栗原市立栗駒病院	17			
大崎市	大崎市民病院	18			
大崎市	大崎市民病院鳴子温泉分院	19			

病院事業決算状況 (28 年度)		都道府県名	宮城県
		市町村・組合名	
		病院名	循環器・呼吸器病センター (地方独立行政法人宮城県立病院機構)
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,333,899	
決算規模(千円)	1,262,330,324	
標準財政規模(千円)	501,638,579	
財政力指数	0.61443	
経常収支比率(%)	96.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.9
	将来負担比率(%)	169.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.1	59.8
材料費	-	-	23.9	19.6
(うち薬品費)	-	-	12.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	9.1
減価償却費	-	-	9.3	9.9
経費	-	-	23.1	27.5
(うち委託料)	-	-	11.1	11.8
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.8	1.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		97.9	95.3
医業収支比率	-		88.4	85.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.4	15.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	-		85.8	82.6

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)		都道府県名	宮城県
		市町村・組合名	
		病院名	精神医療センター(地方独立行政法人宮城県立病院機構)
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,333,899	
決算規模(千円)	1,262,330,324	
標準財政規模(千円)	501,638,579	
財政力指数	0.61443	
経常収支比率(%)	96.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.9
	将来負担比率(%)	169.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.1	93.3
材料費	-	-	23.9	9.0
(うち薬品費)	-	-	12.5	6.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	1.1
減価償却費	-	-	9.3	12.8
経費	-	-	23.1	32.7
(うち委託料)	-	-	11.1	15.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.8	3.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		97.9	100.2
医業収支比率	-		88.4	67.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	33.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.4	51.8
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	33.1
実質収益対経常費用比率	-		85.8	66.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28 年度)		都道府県名	宮城県
		市町村・組合名	
		病院名	がんセンター(地方独立行政法人宮城県立病院機構)
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28 年度	27 年度	26 年度
一 般	-	-	-	-
療 養	-	-	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,333,899	
決算規模(千円)	1,262,330,324	
標準財政規模(千円)	501,638,579	
財政力指数	0.61443	
経常収支比率(%)	96.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.9
	将来負担比率(%)	169.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総 収 益	-			
1 経 常 収 益	-			
(1) 医 業 収 益	-			
入 院 収 益	-			
外 来 収 益	-			
診 療 収 入 計	-			
そ の 他 医 業 収 益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医 業 外 収 益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	-			
2 経 常 費 用	-			
(1) 医 業 費 用	-			
職 員 給 与 費	-	-	56.1	56.5
材 料 費	-	-	23.9	24.1
(うち薬品費)	-	-	12.5	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	11.4
減 価 償 却 費	-	-	9.3	9.1
経 費	-	-	23.1	21.6
(うち委託料)	-	-	11.1	10.6
研 究 研 修 費	-			
資 産 減 耗 費	-			
(2) 医 業 外 費 用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.8	2.0
(3) 特 別 損 失	-			
損 益				
経 常 損 益	-			
純 損 益	-			
累 積 欠 損 金	-			
経 常 収 支 比 率	-		97.9	96.7
医 業 収 支 比 率	-		88.4	89.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.4	12.6
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	11.0
実質収益対経常費用比率	-		85.8	86.1

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資 産 合 計	-
1 固 定 資 産	-
(1) 有 形 固 定 資 産	-
(2) 無 形 固 定 資 産	-
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	-
2 流 動 資 産	-
(1) 現 金 及 び 預 金	-
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	-
(3) 貸 倒 引 当 金 ()	-
(4) 貯 蔵 品	-
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	-
1 固 定 負 債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 (特 例 債 含 む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(6) 引 当 金	-
(7) リ ー ス 債 務	-
2 流 動 負 債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	-
(6) リ ー ス 債 務	-
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	-
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	-
(1) 長 期 前 受 金	-
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()	-
資 本 合 計	-
1 資 本 金	-
2 剰 余 金	-
(1) 資 本 剰 余 金	-
(2) 利 益 剰 余 金	-
負 債 ・ 資 本 合 計	-
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ()	-
資本不足額(繰延収益控除後) ()	-
備 考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28 年 度	-	-
27 年 度	-	-
26 年 度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28 年度)		都道府県名	宮城県
		市町村・組合名	
		病院名	こども病院(地方独立行政法人宮城県立こども病院)
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,333,899	
決算規模(千円)	1,262,330,324	
標準財政規模(千円)	501,638,579	
財政力指数	0.61443	
経常収支比率(%)	96.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.9
	将来負担比率(%)	169.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.1	60.1
材料費	-	-	23.9	18.1
(うち薬品費)	-	-	12.5	9.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	8.1
減価償却費	-	-	9.3	10.1
経費	-	-	23.1	30.4
(うち委託料)	-	-	11.1	12.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.8	1.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		97.9	96.4
医業収支比率	-		88.4	83.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.4	19.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	15.8
実質収益対経常費用比率	-		85.8	81.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	仙台市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	52,286 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 地		
診療科数	25	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	467	80.5	83.5	78.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	19.8	14.8	-
感染症	8	3.7	8.0	9.2
計	525	73.5	75.8	73.0
平均在院日数(一般病床のみ)		9.7	9.9	10.8

設立団体の状況		
人口(人)	1,082,159	
決算規模(千円)	474,312,320	
標準財政規模(千円)	238,045,947	
財政力指数	0.91	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	108.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.5
修正医業収支金額(千円)	13,038,713

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,600,047			
1 経常収益	15,463,500			
(1) 医業収益	13,998,922			
入院収益	9,864,668			
外来収益	2,937,904			
診療収入計	12,802,572			
その他医業収益	1,196,350			
(うち他会計負担金)	960,209			
(2) 医業外収益	1,464,578			
(うち国・都道府県補助金)	47,767			
(うち他会計補助・負担金)	1,083,887			
(うち長期前受金戻入)	101,537			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,136,547			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,472,880			
2 経常費用	16,822,289			
(1) 医業費用	16,007,062			
職員給与費	8,147,701	58.2	56.1	50.8
材料費	3,075,937	22.0	23.9	27.3
(うち薬品費)	1,095,435	7.8	12.5	14.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,980,502	14.1	10.9	12.6
減価償却費	1,632,507	11.7	9.3	8.6
経費	3,078,203	22.0	23.1	20.7
(うち委託料)	1,575,581	11.3	11.1	11.4
研究研修費	66,568			
資産減耗費	6,146			
(2) 医業外費用	815,227			
(うち支払利息)	335,309	2.4	1.8	1.6
(3) 特別損失	650,591			
損益				
経常損益	-1,358,789			
純損益	1,127,167			
累積欠損金	5,976,410			
経常収支比率	91.9		97.9	99.3
医業収支比率	87.5		88.4	92.4
他会計繰入金対経常収益比率	13.2		12.3	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	14.6		14.4	10.6
他会計繰入金対総収益比率	11.0		12.4	9.3
実質収益対経常費用比率	79.8		85.8	90.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	35,580,219
1 固定資産	30,424,564
(1) 有形固定資産	29,960,379
(2) 無形固定資産	464,185
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	5,155,655
(1) 現金及び預金	2,973,917
(2) 未収金及び未収収益	2,194,755
(3) 貸倒引当金()	64,151
(4) 貯蔵品	51,134
3 繰延資産	-
負債合計	29,923,409
1 固定負債	25,183,190
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	24,321,746
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	861,444
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,237,765
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,439,990
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	499,755
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,227,218
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,502,454
(1) 長期前受金	2,083,131
(2) 長期前受金収益化累計額()	580,677
資本合計	5,656,810
1 資本金	11,432,057
2 剰余金	-5,775,247
(1) 資本剰余金	201,163
(2) 利益剰余金	-5,976,410
負債・資本合計	35,580,219
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,888,112	2,044,096
資本勘定繰入	597,186	600,044
計	2,485,298	2,644,140

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	42.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28 年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	石巻市
	病院名	石巻市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	4,706 m ²	指定病院の状況	救 感 地 輪
診療科数	6	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区 分	病床数	28 年 度	27 年 度	26 年 度
一 般	140	61.0	-	-
療 養	40	0.6	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	-	-	-	-
計	180	47.6	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		16.8	-	-

設立団体の状況		
人 口 (人)	147,214	
決 算 規 模 (千円)	201,677,922	
標 準 財 政 規 模 (千円)	40,130,062	
財 政 力 指 数	0.51	
経 常 収 支 比 率 (%)	98.9	
健全化 判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	13.4
	将来負担比率 (%)	25.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	33.7
修正医業収支金額 (千円)	761,975

損 益 計 算 書 (千円・%)				
区 分	決 算 額	費 用 医 業 収 益	全 国 平 均	類 似 平 均
総 収 益	3,775,654			
1 経 常 収 益	2,746,437			
(1) 医 業 収 益	856,965			
入 院 収 益	580,387			
外 来 収 益	160,724			
診 療 収 入 計	741,111			
そ の 他 医 業 収 益	115,854			
(うち他会計負担金)	94,990			
(2) 医 業 外 収 益	1,889,472			
(うち国・都道府県補助金)	322,797			
(うち他会計補助・負担金)	405,017			
(うち長期前受金戻入)	1,075,953			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	1,029,217			
(うち他会計繰入金)	14,174			
総 費 用	2,882,481			
2 経 常 費 用	2,867,359			
(1) 医 業 費 用	2,264,410			
職 員 給 与 費	1,215,288	141.8	56.1	60.1
材 料 費	310,354	36.2	23.9	18.1
(うち薬品費)	45,086	5.3	12.5	9.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	265,268	31.0	10.9	8.1
減 価 償 却 費	3,397	0.4	9.3	10.1
経 費	729,386	85.1	23.1	30.4
(うち委託料)	282,471	33.0	11.1	12.5
研 究 研 修 費	5,811			
資 産 減 耗 費	174			
(2) 医 業 外 費 用	602,949			
(うち支払利息)	103,047	12.0	1.8	1.9
(3) 特 別 損 失	15,122			
損 益				
経 常 損 益	-120,922			
純 損 益	893,173			
累 積 欠 損 金	5,980,624			
経 常 収 支 比 率	95.8		97.9	96.4
医 業 収 支 比 率	37.8		88.4	83.6
他会計繰入金対経常収益比率	18.2		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	58.3		14.4	19.0
他会計繰入金対総収益比率	13.6		12.4	15.8
実 質 収 益 対 経 常 費 用 比 率	78.3		85.8	81.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸 借 対 照 表 (千円・%)	
区 分	決 算 額
資 産 合 計	15,959,628
1 固 定 資 産	15,151,640
(1) 有 形 固 定 資 産	15,151,255
(2) 無 形 固 定 資 産	385
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	-
2 流 動 資 産	807,988
(1) 現 金 及 び 預 金	319,228
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	436,849
(3) 貸 倒 引 当 金 ()	-
(4) 貯 蔵 品	51,911
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	19,440,271
1 固 定 負 債	4,187,906
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,682,246
(2) そ の 他 の 企 業 債	505,660
(3) 再 建 債 (特 例 債 含 む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(6) 引 当 金	-
(7) リ ー ス 債 務	-
2 流 動 負 債	773,071
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	330,061
(2) そ の 他 の 企 業 債	24,166
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	97,118
(6) リ ー ス 債 務	-
(7) 一 時 借 入 金	100,000
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	218,417
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	14,479,294
(1) 長 期 前 受 金	16,195,346
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()	1,716,052
資 本 合 計	-3,480,643
1 資 本 金	2,944,038
2 剰 余 金	-6,424,681
(1) 資 本 剰 余 金	-
(2) 利 益 剰 余 金	-6,424,681
負 債 ・ 資 本 合 計	15,959,628
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ()	3,480,643
資 本 不 足 額 (繰 延 収 益 控 除 後) ()	-
備 考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況 (千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収 益 勘 定 繰 入	315,164	514,181
資 本 勘 定 繰 入	426,365	442,434
計	741,529	956,615

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不 良 債 務 額 (千円)	不 良 債 務 比 率 (%)
28 年 度	-	-
27 年 度	-	-
26 年 度	-	-

資金不足等の状況	
累 積 欠 損 金 比 率 (%)	511.3
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 額 (千円)	43,564
地 財 法 上 の 資 金 不 足 比 率 (%)	3.4

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	石巻市
	病院名	石巻市立牡鹿病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	25	30.8	25.7	19.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	25	30.8	25.7	19.1
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	12.5	12.6

設立団体の状況		
人口(人)	147,214	
決算規模(千円)	201,677,922	
標準財政規模(千円)	40,130,062	
財政力指数	0.51	
経常収支比率(%)	98.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.4
	将来負担比率(%)	25.1

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	3,588 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	3	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	49.0
修正医業収支金額(千円)	322,970

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	685,624			
1 経常収益	685,624			
(1) 医業収益	399,597			
入院収益	66,968			
外来収益	244,709			
診療収入計	311,677			
その他医業収益	87,920			
(うち他会計負担金)	76,627			
(2) 医業外収益	286,027			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	227,150			
(うち長期前受金戻入)	48,483			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	679,748			
2 経常費用	679,748			
(1) 医業費用	659,685			
職員給与費	279,255	69.9	56.1	77.1
材料費	149,862	37.5	23.9	16.7
(うち薬品費)	139,086	34.8	12.5	10.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	10,134	2.5	10.9	5.1
減価償却費	65,181	16.3	9.3	12.8
経費	163,638	41.0	23.1	40.7
(うち委託料)	56,827	14.2	11.1	16.6
研究研修費	1,367			
資産減耗費	382			
(2) 医業外費用	20,063			
(うち支払利息)	215	0.1	1.8	1.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	5,876			
純損益	5,876			
累積欠損金	444,057			
経常収支比率	100.9		97.9	96.9
医業収支比率	60.6		88.4	67.1
他会計繰入金対経常収益比率	44.3		12.3	32.4
他会計繰入金対医業収益比率	76.0		14.4	49.6
他会計繰入金対総収益比率	44.3		12.4	32.2
実質収益対経常費用比率	56.2		85.8	65.5

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,959,628
1 固定資産	15,151,640
(1) 有形固定資産	15,151,255
(2) 無形固定資産	385
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	807,988
(1) 現金及び預金	319,228
(2) 未収金及び未収収益	436,849
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	51,911
3 繰延資産	-
負債合計	19,440,271
1 固定負債	4,187,906
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,682,246
(2) その他の企業債	505,660
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	773,071
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	330,061
(2) その他の企業債	24,166
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	97,118
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	100,000
(8) 未払金及び未払費用	218,417
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	14,479,294
(1) 長期前受金	16,195,346
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,716,052
資本合計	-3,480,643
1 資本金	2,944,038
2 剰余金	-6,424,681
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-6,424,681
負債・資本合計	15,959,628
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	3,480,643
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	315,556	303,777
資本勘定繰入	5,543	11,085
計	321,099	314,862

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	511.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	43,564
地財法上の資金不足比率(%)	3.4

備考:
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考:
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	塩竈市
	病院名	塩竈市立病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	123	83.8	84.5	88.4
療養	38	93.4	93.4	79.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	161	86.1	86.6	86.3
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	16.0	18.0

設立団体の状況		
人口(人)	54,187	
決算規模(千円)	37,650,917	
標準財政規模(千円)	12,084,345	
財政力指数	0.51	
経常収支比率(%)	98.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.5
	将来負担比率(%)	28.8

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド I 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	10,495 m ²	指定病院の状況	救臨 輪
診療科数	17	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.9
修正医業収支金額(千円)	2,392,174

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,918,601			
1 経常収益	2,918,601			
(1) 医業収益	2,556,374			
入院収益	1,508,673			
外来収益	732,600			
診療収入計	2,241,273			
その他医業収益	315,101			
(うち他会計負担金)	164,200			
(2) 医業外収益	362,227			
(うち国・都道府県補助金)	231			
(うち他会計補助・負担金)	300,980			
(うち長期前受金戻入)	43,884			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,977,216			
2 経常費用	2,970,958			
(1) 医業費用	2,887,258			
職員給与費	1,405,111	55.0	56.1	60.1
材料費	513,154	20.1	23.9	18.1
(うち薬品費)	310,075	12.1	12.5	9.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	171,476	6.7	10.9	8.1
減価償却費	108,675	4.3	9.3	10.1
経費	849,691	33.2	23.1	30.4
(うち委託料)	270,402	10.6	11.1	12.5
研究研修費	4,643			
資産減耗費	5,984			
(2) 医業外費用	83,700			
(うち支払利息)	1,622	0.1	1.8	1.9
(3) 特別損失	6,258			
損益				
経常損益	-52,357			
純損益	-58,615			
累積欠損金	3,484,002			
経常収支比率	98.2		97.9	96.4
医業収支比率	88.5		88.4	83.6
他会計繰入金対経常収益比率	15.9		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	18.2		14.4	19.0
他会計繰入金対総収益比率	15.9		12.4	15.8
実質収益対経常費用比率	82.6		85.8	81.4

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,882,039
1 固定資産	1,436,948
(1) 有形固定資産	1,436,802
(2) 無形固定資産	146
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	445,091
(1) 現金及び預金	21,027
(2) 未収金及び未収収益	409,620
(3) 貸倒引当金()	527
(4) 貯蔵品	14,971
3 繰延資産	-
負債合計	1,760,495
1 固定負債	449,003
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	420,320
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	19,500
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	9,183
2 流動負債	612,944
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	65,628
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	6,500
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	93,576
(6) リース債務	4,736
(7) 一時借入金	120,000
(8) 未払金及び未払費用	302,156
(9) 前受金及び前受収益	20,348
3 繰延収益	698,548
(1) 長期前受金	804,710
(2) 長期前受金収益化累計額()	106,162
資本合計	121,544
1 資本金	3,593,643
2 剰余金	-3,472,099
(1) 資本剰余金	11,903
(2) 利益剰余金	-3,484,002
負債・資本合計	1,882,039
不良債務	95,725
実質資金不足額	95,725
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	266,480	465,180
資本勘定繰入	33,320	34,093
計	299,800	499,273

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	95,725	3.7
27年度	65,147	2.6
26年度	265,115	11.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	136.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	気仙沼市
	病院名	気仙沼市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	25,145 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 輪
診療科数	18	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区 分	病床数	28年度	27年度	26年度
一 般	400	63.3	67.9	66.2
療 養	-	-	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	4	-	-	-
計	404	62.7	67.2	65.6
平均在院日数(一般病床のみ)		12.4	13.4	13.6

設立団体の状況		
人口(人)	64,988	
決算規模(千円)	162,973,078	
標準財政規模(千円)	18,452,253	
財政力指数	0.41	
経常収支比率(%)	98.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.1
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.2
修正医業収支金額(千円)	7,279,520

損益計算書 (千円・%)				
区 分	決 算 額	費 用 医 業 収 益	全 国 平 均	類 似 平 均
総 収 益	8,205,613			
1 経 常 収 益	8,205,426			
(1) 医 業 収 益	7,504,019			
入 院 収 益	4,194,658			
外 来 収 益	2,944,823			
診 療 収 入 計	7,139,481			
そ の 他 医 業 収 益	364,538			
(うち他会計負担金)	224,499			
(2) 医 業 外 収 益	701,407			
(うち国・都道府県補助金)	17,584			
(うち他会計補助・負担金)	568,518			
(うち長期前受金戻入)	16,274			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	187			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	8,902,170			
2 経 常 費 用	8,885,990			
(1) 医 業 費 用	8,442,395			
職 員 給 与 費	3,868,202	51.5	56.1	55.3
材 料 費	1,793,349	23.9	23.9	25.4
(うち薬品費)	1,075,428	14.3	12.5	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	717,640	9.6	10.9	12.0
減 価 償 却 費	490,854	6.5	9.3	8.9
経 理 費	2,252,929	30.0	23.1	19.4
(うち委託料)	944,067	12.6	11.1	9.2
研 究 研 修 費	20,049			
資 産 減 耗 費	17,012			
(2) 医 業 外 費 用	443,595			
(うち支払利息)	78,656	1.0	1.8	1.7
(3) 特 別 損 失	16,180			
損 益				
経 常 損 益	-680,564			
純 損 益	-696,557			
累 積 欠 損 金	7,692,621			
経 常 収 支 比 率	92.3		97.9	98.4
医 業 収 支 比 率	88.9		88.4	91.3
他会計繰入金対経常収益比率	9.7		12.3	10.3
他会計繰入金対医業収益比率	10.6		14.4	11.7
他会計繰入金対総収益比率	9.7		12.4	10.5
実 質 収 益 対 経 常 費 用 比 率	83.4		85.8	88.2

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区 分	決 算 額
資 産 合 計	21,353,561
1 固 定 資 産	19,202,452
(1) 有 形 固 定 資 産	18,039,512
(2) 無 形 固 定 資 産	5,158
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	1,157,782
2 流 動 資 産	2,151,109
(1) 現 金 及 び 預 金	799,761
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	1,259,649
(3) 貸 倒 引 当 金 ()	8,519
(4) 貯 蔵 品	98,619
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	18,596,219
1 固 定 負 債	4,926,716
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,883,656
(2) そ の 他 の 企 業 債	6,169
(3) 再 建 債 (特 例 債 含 む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(6) 引 当 金	36,891
(7) リ ー ス 債 務	-
2 流 動 負 債	1,560,985
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	636,935
(2) そ の 他 の 企 業 債	1,352
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	297,815
(6) リ ー ス 債 務	1,145
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	618,441
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	12,108,518
(1) 長 期 前 受 金	12,475,607
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()	367,089
資 本 合 計	2,757,342
1 資 本 金	10,413,685
2 剰 余 金	-7,656,343
(1) 資 本 剰 余 金	137,022
(2) 利 益 剰 余 金	-7,793,365
負 債 ・ 資 本 合 計	21,353,561
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ()	-
資本不足額(繰延収益控除後) ()	-
備 考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収 益 勘 定 繰 入	767,553	793,017
資 本 勘 定 繰 入	929,566	1,202,698
計	1,697,119	1,995,715

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不 良 債 務 額 (千円)	不 良 債 務 比 率 (%)
28 年 度	-	-
27 年 度	-	-
26 年 度	-	-

資金不足等の状況	
累 積 欠 損 金 比 率 (%)	99.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 額 (千円)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 比 率 (%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	気仙沼市
	病院名	気仙沼市立本吉病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	1,902 m ²	指定病院の状況	
診療科数	5	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	38	43.0	47.6	37.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	38	43.0	47.6	37.4
平均在院日数(一般病床のみ)		16.1	17.2	14.2

設立団体の状況		
人口(人)	64,988	
決算規模(千円)	162,973,078	
標準財政規模(千円)	18,452,253	
財政力指数	0.41	
経常収支比率(%)	98.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.1
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	61.5
修正医業収支金額(千円)	358,087

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	608,315			
1 経常収益	606,973			
(1) 医業収益	358,087			
入院収益	140,714			
外来収益	191,961			
診療収入計	332,675			
その他医業収益	25,412			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	248,886			
(うち国・都道府県補助金)	3,253			
(うち他会計補助・負担金)	212,300			
(うち長期前受金戻入)	32,548			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,342			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	595,653			
2 経常費用	595,614			
(1) 医業費用	582,628			
職員給与費	300,008	83.8	56.1	77.1
材料費	41,403	11.6	23.9	16.7
(うち薬品費)	15,348	4.3	12.5	10.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	22,014	6.1	10.9	5.1
減価償却費	46,445	13.0	9.3	12.8
経費	193,725	54.1	23.1	40.7
(うち委託料)	76,172	21.3	11.1	16.6
研究研修費	911			
資産減耗費	136			
(2) 医業外費用	12,986			
(うち支払利息)	1,229	0.3	1.8	1.8
(3) 特別損失	39			
損益				
経常損益	11,359			
純損益	12,662			
累積欠損金	113,649			
経常収支比率	101.9		97.9	96.9
医業収支比率	61.5		88.4	67.1
他会計繰入金対経常収益比率	35.0		12.3	32.4
他会計繰入金対医業収益比率	59.3		14.4	49.6
他会計繰入金対総収益比率	34.9		12.4	32.2
実質収益対経常費用比率	66.3		85.8	65.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	21,353,561
1 固定資産	19,202,452
(1) 有形固定資産	18,039,512
(2) 無形固定資産	5,158
(3) 投資その他の資産	1,157,782
2 流動資産	2,151,109
(1) 現金及び預金	799,761
(2) 未収金及び未収収益	1,259,649
(3) 貸倒引当金()	8,519
(4) 貯蔵品	98,619
3 繰延資産	-
負債合計	18,596,219
1 固定負債	4,926,716
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,883,656
(2) その他の企業債	6,169
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	36,891
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,560,985
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	636,935
(2) その他の企業債	1,352
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	297,815
(6) リース債務	1,145
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	618,441
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	12,108,518
(1) 長期前受金	12,475,607
(2) 長期前受金収益化累計額()	367,089
資本合計	2,757,342
1 資本金	10,413,685
2 剰余金	-7,656,343
(1) 資本剰余金	137,022
(2) 利益剰余金	-7,793,365
負債・資本合計	21,353,561
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	207,857	212,300
資本勘定繰入	11,938	11,938
計	219,795	224,238

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	99.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	登米市
	病院名	登米市立登米市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	18,796 m ²	指定病院の状況	救 災 輪
診療科数	13	看護配置	7 : 1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	258	61.1	61.5	59.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	258	61.1	61.5	59.6
平均在院日数(一般病床のみ)		20.9	19.3	18.7

設立団体の状況		
人口(人)	81,959	
決算規模(千円)	47,445,459	
標準財政規模(千円)	28,305,683	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	87.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	73.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	74.7
修正医業収支金額(千円)	3,591,295

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,576,698			
1 経常収益	4,564,713			
(1) 医業収益	4,071,103			
入院収益	1,915,659			
外来収益	1,508,117			
診療収入計	3,423,776			
その他医業収益	647,327			
(うち他会計負担金)	479,808			
(2) 医業外収益	493,610			
(うち国・都道府県補助金)	4,106			
(うち他会計補助・負担金)	373,658			
(うち長期前受金戻入)	84,241			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	11,985			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,549,456			
2 経常費用	5,005,453			
(1) 医業費用	4,810,806			
職員給与費	2,472,634	60.7	56.1	59.8
材料費	569,399	14.0	23.9	19.6
(うち薬品費)	344,491	8.5	12.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	224,060	5.5	10.9	9.1
減価償却費	414,257	10.2	9.3	9.9
経費	1,338,419	32.9	23.1	27.5
(うち委託料)	462,778	11.4	11.1	11.8
研究研修費	10,831			
資産減耗費	5,266			
(2) 医業外費用	194,647			
(うち支払利息)	89,281	2.2	1.8	1.9
(3) 特別損失	544,003			
損益				
経常損益	-440,740			
純損益	-972,758			
累積欠損金	11,807,695			
経常収支比率	91.2		97.9	95.3
医業収支比率	84.6		88.4	85.1
他会計繰入金対経常収益比率	18.7		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	21.0		14.4	15.9
他会計繰入金対総収益比率	18.6		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	74.1		85.8	82.6

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,789,596
1 固定資産	7,498,883
(1) 有形固定資産	7,431,015
(2) 無形固定資産	1,288
(3) 投資その他の資産	66,580
2 流動資産	1,290,713
(1) 現金及び預金	425,720
(2) 未収金及び未収収益	824,142
(3) 貸倒引当金()	5,714
(4) 貯蔵品	44,588
3 繰延資産	-
負債合計	8,834,803
1 固定負債	5,631,728
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,200,407
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	150,000
(6) 引当金	2,281,164
(7) リース債務	157
2 流動負債	1,858,199
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	324,786
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	260,846
(6) リース債務	12,926
(7) 一時借入金	900,000
(8) 未払金及び未払費用	304,627
(9) 前受金及び前受収益	39,730
3 繰延収益	1,344,876
(1) 長期前受金	1,755,625
(2) 長期前受金収益化累計額()	410,749
資本合計	-45,207
1 資本金	13,708,798
2 剰余金	-13,754,005
(1) 資本剰余金	143,157
(2) 利益剰余金	-13,897,162
負債・資本合計	8,789,596
不良債務	276,872
実質資金不足額	276,872
資本不足額()	45,207
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	814,679	853,466
資本勘定繰入	214,809	373,544
計	1,029,488	1,227,010

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	276,872	4.7
27年度	161,026	2.6
26年度	561,816	9.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	234.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	登米市
	病院名	登米市立米谷病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,303 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	4	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	49	67.2	73.7	76.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	49	67.2	73.7	76.9
平均在院日数(一般病床のみ)		18.9	18.6	19.1

設立団体の状況		
人口(人)	81,959	
決算規模(千円)	47,445,459	
標準財政規模(千円)	28,305,683	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	87.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	73.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.1
修正医業収支金額(千円)	834,181

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	991,596			
1 経常収益	988,424			
(1) 医業収益	893,854			
入院収益	304,434			
外来収益	484,445			
診療収入計	788,879			
その他医業収益	104,975			
(うち他会計負担金)	59,673			
(2) 医業外収益	94,570			
(うち国・都道府県補助金)	37			
(うち他会計補助・負担金)	78,403			
(うち長期前受金戻入)	9,764			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,172			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,196,023			
2 経常費用	1,100,662			
(1) 医業費用	1,068,671			
職員給与費	460,398	51.5	56.1	77.1
材料費	295,939	33.1	23.9	16.7
(うち薬品費)	263,539	29.5	12.5	10.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	31,873	3.6	10.9	5.1
減価償却費	43,491	4.9	9.3	12.8
経費	258,108	28.9	23.1	40.7
(うち委託料)	66,331	7.4	11.1	16.6
研究研修費	1,501			
資産減耗費	9,234			
(2) 医業外費用	31,991			
(うち支払利息)	319	-	1.8	1.8
(3) 特別損失	95,361			
損益				
経常損益	-112,238			
純損益	-204,427			
累積欠損金	1,565,344			
経常収支比率	89.8		97.9	96.9
医業収支比率	83.6		88.4	67.1
他会計繰入金対経常収益比率	14.0		12.3	32.4
他会計繰入金対医業収益比率	15.4		14.4	49.6
他会計繰入金対総収益比率	13.9		12.4	32.2
実質収益対経常費用比率	77.3		85.8	65.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,789,596
1 固定資産	7,498,883
(1) 有形固定資産	7,431,015
(2) 無形固定資産	1,288
(3) 投資その他の資産	66,580
2 流動資産	1,290,713
(1) 現金及び預金	425,720
(2) 未収金及び未収収益	824,142
(3) 貸倒引当金()	5,714
(4) 貯蔵品	44,588
3 繰延資産	-
負債合計	8,834,803
1 固定負債	5,631,728
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,200,407
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	150,000
(6) 引当金	2,281,164
(7) リース債務	157
2 流動負債	1,858,199
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	324,786
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	260,846
(6) リース債務	12,926
(7) 一時借入金	900,000
(8) 未払金及び未払費用	304,627
(9) 前受金及び前受収益	39,730
3 繰延収益	1,344,876
(1) 長期前受金	1,755,625
(2) 長期前受金収益化累計額()	410,749
資本合計	-45,207
1 資本金	13,708,798
2 剰余金	-13,754,005
(1) 資本金剰余金	143,157
(2) 利益剰余金	-13,897,162
負債・資本合計	8,789,596
不良債務	276,872
実質資金不足額	276,872
資本不足額(繰延収益控除後)()	45,207
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	136,665	138,076
資本勘定繰入	12,802	27,305
計	149,467	165,381

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	276,872	4.7
27年度	161,026	2.6
26年度	561,816	9.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	234.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	登米市
	病院名	登米市立豊里病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	6,119 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	8	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	69	60.8	61.6	61.1
療養	30	99.3	99.3	100.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	72.4	73.0	72.9
平均在院日数(一般病床のみ)		20.8	18.1	18.1

設立団体の状況		
人口(人)	81,959	
決算規模(千円)	47,445,459	
標準財政規模(千円)	28,305,683	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	87.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	73.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.4
修正医業収支金額(千円)	928,807

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,163,437			
1 経常収益	1,156,845			
(1) 医業収益	966,525			
入院収益	601,490			
外来収益	291,073			
診療収入計	892,563			
その他医業収益	73,962			
(うち他会計負担金)	37,718			
(2) 医業外収益	190,320			
(うち国・都道府県補助金)	94			
(うち他会計補助・負担金)	173,141			
(うち長期前受金戻入)	8,810			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,592			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,307,603			
2 経常費用	1,173,379			
(1) 医業費用	1,141,584			
職員給与費	613,567	63.5	56.1	68.5
材料費	104,911	10.9	23.9	17.7
(うち薬品費)	60,536	6.3	12.5	11.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	43,793	4.5	10.9	5.7
減価償却費	72,369	7.5	9.3	12.1
経費	347,909	36.0	23.1	32.0
(うち委託料)	101,436	10.5	11.1	12.2
研究研修費	2,182			
資産減耗費	646			
(2) 医業外費用	31,795			
(うち支払利息)	7,101	0.7	1.8	2.3
(3) 特別損失	134,224			
損益				
経常損益	-16,534			
純損益	-144,166			
累積欠損金	524,123			
経常収支比率	98.6		97.9	98.1
医業収支比率	84.7		88.4	76.4
他会計繰入金対経常収益比率	18.2		12.3	23.1
他会計繰入金対医業収益比率	21.8		14.4	31.6
他会計繰入金対総収益比率	18.1		12.4	23.5
実質収益対経常費用比率	80.6		85.8	75.4

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,789,596
1 固定資産	7,498,883
(1) 有形固定資産	7,431,015
(2) 無形固定資産	1,288
(3) 投資その他の資産	66,580
2 流動資産	1,290,713
(1) 現金及び預金	425,720
(2) 未収金及び未収収益	824,142
(3) 貸倒引当金()	5,714
(4) 貯蔵品	44,588
3 繰延資産	-
負債合計	8,834,803
1 固定負債	5,631,728
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,200,407
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	150,000
(6) 引当金	2,281,164
(7) リース債務	157
2 流動負債	1,858,199
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	324,786
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	260,846
(6) リース債務	12,926
(7) 一時借入金	900,000
(8) 未払金及び未払費用	304,627
(9) 前受金及び前受収益	39,730
3 繰延収益	1,344,876
(1) 長期前受金	1,755,625
(2) 長期前受金収益化累計額()	410,749
資本合計	-45,207
1 資本金	13,708,798
2 剰余金	-13,754,005
(1) 資本剰余金	143,157
(2) 利益剰余金	-13,897,162
負債・資本合計	8,789,596
不良債務	276,872
実質資金不足額	276,872
資本不足額(繰延収益控除後)()	45,207
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	204,608	210,859
資本勘定繰入	72,733	130,534
計	277,341	341,393

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	276,872	4.7
27年度	161,026	2.6
26年度	561,816	9.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	234.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	栗原市
	病院名	栗原市立栗原中央病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	20,207 m ²	指定病院の状況	救臨 災 輪
診療科数	16	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	250	66.3	64.2	64.4
療養	50	47.1	57.4	69.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	63.1	63.1	65.1
平均在院日数(一般病床のみ)		17.5	17.2	18.1

設立団体の状況		
人口(人)	69,906	
決算規模(千円)	46,108,363	
標準財政規模(千円)	28,922,084	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	89.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	55.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.9
修正医業収支金額(千円)	3,599,574

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,592,206			
1 経常収益	4,592,206			
(1) 医業収益	3,763,770			
入院収益	2,540,943			
外来収益	917,284			
診療収入計	3,458,227			
その他医業収益	305,543			
(うち他会計負担金)	164,196			
(2) 医業外収益	828,436			
(うち国・都道府県補助金)	26,195			
(うち他会計補助・負担金)	689,374			
(うち長期前受金戻入)	79,252			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,742,161			
2 経常費用	4,731,698			
(1) 医業費用	4,447,345			
職員給与費	2,111,234	56.1	56.1	56.5
材料費	633,003	16.8	23.9	24.1
(うち薬品費)	291,590	7.7	12.5	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	341,413	9.1	10.9	11.4
減価償却費	398,600	10.6	9.3	9.1
経費	1,277,949	34.0	23.1	21.6
(うち委託料)	495,172	13.2	11.1	10.6
研究研修費	13,243			
資産減耗費	13,316			
(2) 医業外費用	284,353			
(うち支払利息)	141,382	3.8	1.8	2.0
(3) 特別損失	10,463			
損益				
経常損益	-139,492			
純損益	-149,955			
累積欠損金	6,060,344			
経常収支比率	97.1		97.9	96.7
医業収支比率	84.6		88.4	89.3
他会計繰入金対経常収益比率	18.6		12.3	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	22.7		14.4	12.6
他会計繰入金対総収益比率	18.6		12.4	11.0
実質収益対経常費用比率	79.0		85.8	86.1

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,361,383
1 固定資産	13,033,436
(1) 有形固定資産	12,751,866
(2) 無形固定資産	854
(3) 投資その他の資産	280,716
2 流動資産	2,327,947
(1) 現金及び預金	1,385,133
(2) 未収金及び未収収益	884,594
(3) 貸倒引当金()	520
(4) 貯蔵品	58,740
3 繰延資産	-
負債合計	12,624,730
1 固定負債	10,124,965
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,123,415
(2) その他の企業債	1,550
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,290,572
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	724,466
(2) その他の企業債	516
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,000,000
(5) 引当金	220,852
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	342,705
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	209,193
(1) 長期前受金	386,886
(2) 長期前受金収益化累計額()	177,693
資本合計	2,736,653
1 資本金	9,479,092
2 剰余金	-6,742,439
(1) 資本金剰余金	18,650
(2) 利益剰余金	-6,761,089
負債・資本合計	15,361,383
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	853,570	853,570
資本勘定繰入	353,920	377,520
計	1,207,490	1,231,090

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	114.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	栗原市
	病院名	栗原市立若柳病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	90	74.6	74.9	67.1
療養	30	86.1	73.5	83.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	77.5	74.6	71.3
平均在院日数(一般病床のみ)		19.9	19.8	19.6

設立団体の状況		
人口(人)	69,906	
決算規模(千円)	46,108,363	
標準財政規模(千円)	28,922,084	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	89.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	55.1

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,581 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	6	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.9
修正医業収支金額(千円)	1,462,088

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,814,062			
1 経常収益	1,814,062			
(1) 医業収益	1,527,712			
入院収益	944,876			
外来収益	463,803			
診療収入計	1,408,679			
その他医業収益	119,033			
(うち他会計負担金)	65,624			
(2) 医業外収益	286,350			
(うち国・都道府県補助金)	1,361			
(うち他会計補助・負担金)	276,345			
(うち長期前受金戻入)	3,323			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,751,776			
2 経常費用	1,750,563			
(1) 医業費用	1,645,023			
職員給与費	833,478	54.6	56.1	60.1
材料費	195,133	12.8	23.9	18.1
(うち薬品費)	112,311	7.4	12.5	9.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	82,822	5.4	10.9	8.1
減価償却費	118,056	7.7	9.3	10.1
経費	494,108	32.3	23.1	30.4
(うち委託料)	175,043	11.5	11.1	12.5
研究研修費	2,466			
資産減耗費	1,782			
(2) 医業外費用	105,540			
(うち支払利息)	56,741	3.7	1.8	1.9
(3) 特別損失	1,213			
損益				
経常損益	63,499			
純損益	62,286			
累積欠損金	374,399			
経常収支比率	103.6		97.9	96.4
医業収支比率	92.9		88.4	83.6
他会計繰入金対経常収益比率	18.9		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	22.4		14.4	19.0
他会計繰入金対総収益比率	18.9		12.4	15.8
実質収益対経常費用比率	84.1		85.8	81.4

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,361,383
1 固定資産	13,033,436
(1) 有形固定資産	12,751,866
(2) 無形固定資産	854
(3) 投資その他の資産	280,716
2 流動資産	2,327,947
(1) 現金及び預金	1,385,133
(2) 未収金及び未収収益	884,594
(3) 貸倒引当金()	520
(4) 貯蔵品	58,740
3 繰延資産	-
負債合計	12,624,730
1 固定負債	10,124,965
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,123,415
(2) その他の企業債	1,550
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,290,572
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	724,466
(2) その他の企業債	516
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,000,000
(5) 引当金	220,852
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	342,705
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	209,193
(1) 長期前受金	386,886
(2) 長期前受金収益化累計額()	177,693
資本合計	2,736,653
1 資本金	9,479,092
2 剰余金	-6,742,439
(1) 資本剰余金	18,650
(2) 利益剰余金	-6,761,089
負債・資本合計	15,361,383
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	341,969	341,969
資本勘定繰入	101,732	101,732
計	443,701	443,701

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	114.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	栗原市
	病院名	栗原市立栗駒病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	45	58.0	72.2	71.2
療養	30	70.9	75.9	84.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	75	63.2	73.7	76.6
平均在院日数(一般病床のみ)		20.1	19.9	19.0

設立団体の状況		
人口(人)	69,906	
決算規模(千円)	46,108,363	
標準財政規模(千円)	28,922,084	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	89.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	55.1

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,954 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	5	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	60.6
修正医業収支金額(千円)	532,559

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	808,263			
1 経常収益	808,263			
(1) 医業収益	595,098			
入院収益	351,605			
外来収益	160,245			
診療収入計	511,850			
その他医業収益	83,248			
(うち他会計負担金)	62,539			
(2) 医業外収益	213,165			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	205,342			
(うち長期前受金戻入)	2,820			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	922,519			
2 経常費用	922,175			
(1) 医業費用	878,613			
職員給与費	482,243	81.0	56.1	68.5
材料費	57,023	9.6	23.9	17.7
(うち薬品費)	31,104	5.2	12.5	11.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	25,919	4.4	10.9	5.7
減価償却費	65,479	11.0	9.3	12.1
経費	269,773	45.3	23.1	32.0
(うち委託料)	90,109	15.1	11.1	12.2
研究研修費	1,201			
資産減耗費	2,894			
(2) 医業外費用	43,562			
(うち支払利息)	19,173	3.2	1.8	2.3
(3) 特別損失	344			
損益				
経常損益	-113,912			
純損益	-114,256			
累積欠損金	326,346			
経常収支比率	87.6		97.9	98.1
医業収支比率	67.7		88.4	76.4
他会計繰入金対経常収益比率	33.1		12.3	23.1
他会計繰入金対医業収益比率	45.0		14.4	31.6
他会計繰入金対総収益比率	33.1		12.4	23.5
実質収益対経常費用比率	58.6		85.8	75.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,361,383
1 固定資産	13,033,436
(1) 有形固定資産	12,751,866
(2) 無形固定資産	854
(3) 投資その他の資産	280,716
2 流動資産	2,327,947
(1) 現金及び預金	1,385,133
(2) 未収金及び未収収益	884,594
(3) 貸倒引当金()	520
(4) 貯蔵品	58,740
3 繰延資産	-
負債合計	12,624,730
1 固定負債	10,124,965
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,123,415
(2) その他の企業債	1,550
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,290,572
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	724,466
(2) その他の企業債	516
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,000,000
(5) 引当金	220,852
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	342,705
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	209,193
(1) 長期前受金	386,886
(2) 長期前受金収益化累計額()	177,693
資本合計	2,736,653
1 資本金	9,479,092
2 剰余金	-6,742,439
(1) 資本剰余金	18,650
(2) 利益剰余金	-6,761,089
負債・資本合計	15,361,383
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	267,881	267,881
資本勘定繰入	33,992	33,992
計	301,873	301,873

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	114.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	大崎市
	病院名	大崎市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	50,178 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪
診療科数	43	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	486	85.1	90.5	84.0
療養	-	-	-	-
結核	8	10.9	12.5	25.3
精神	-	-	-	-
感染症	6	5.8	2.4	1.5
計	500	82.9	88.1	81.9
平均在院日数(一般病床のみ)		10.0	9.8	10.1

設立団体の状況		
人口(人)	133,391	
決算規模(千円)	64,723,255	
標準財政規模(千円)	36,943,720	
財政力指数	0.51	
経常収支比率(%)	88.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.1
	将来負担比率(%)	41.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.8
修正医業収支金額(千円)	17,091,573

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	20,013,158			
1 経常収益	19,890,868			
(1) 医業収益	17,984,235			
入院収益	10,587,868			
外来収益	5,826,835			
診療収入計	16,414,703			
その他医業収益	1,569,532			
(うち他会計負担金)	892,662			
(2) 医業外収益	1,906,633			
(うち国・都道府県補助金)	63,840			
(うち他会計補助・負担金)	826,036			
(うち長期前受金戻入)	570,803			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	122,290			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,002,493			
2 経常費用	19,993,743			
(1) 医業費用	19,024,344			
職員給与費	7,589,433	42.2	56.1	50.8
材料費	5,619,843	31.2	23.9	27.3
(うち薬品費)	3,117,152	17.3	12.5	14.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,502,691	13.9	10.9	12.6
減価償却費	1,825,709	10.2	9.3	8.6
経費	3,895,164	21.7	23.1	20.7
(うち委託料)	1,664,409	9.3	11.1	11.4
研究研修費	81,476			
資産減耗費	12,719			
(2) 医業外費用	969,399			
(うち支払利息)	226,726	1.3	1.8	1.6
(3) 特別損失	8,750			
損益				
経常損益	-102,875			
純損益	10,665			
累積欠損金	1,230,394			
経常収支比率	99.5		97.9	99.3
医業収支比率	94.5		88.4	92.4
他会計繰入金対経常収益比率	8.6		12.3	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	9.6		14.4	10.6
他会計繰入金対総収益比率	8.6		12.4	9.3
実質収益対経常費用比率	90.9		85.8	90.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	34,680,459
1 固定資産	28,553,149
(1) 有形固定資産	27,614,698
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	938,451
2 流動資産	6,127,310
(1) 現金及び預金	2,673,344
(2) 未収金及び未収収益	3,181,133
(3) 貸倒引当金()	15,311
(4) 貯蔵品	287,697
3 繰延資産	-
負債合計	27,913,649
1 固定負債	18,359,137
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,462,241
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,436,140
(7) リース債務	1,460,756
2 流動負債	3,619,581
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,304,290
(2) その他の企業債	806
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	600,699
(6) リース債務	110,461
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,510,906
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,934,931
(1) 長期前受金	7,795,461
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,860,530
資本合計	6,766,810
1 資本金	11,069,544
2 剰余金	-4,302,734
(1) 資本金剰余金	1,829
(2) 利益剰余金	-4,304,563
負債・資本合計	34,680,459
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,718,698	1,718,698
資本勘定繰入	617,083	617,083
計	2,335,781	2,335,781

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	21.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	大崎市
	病院名	大崎市民病院鳴子温泉分院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	8,794 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	8	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	50	60.7	64.8	67.1
療養	80	73.7	73.1	73.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	130	68.7	69.9	71.0
平均在院日数(一般病床のみ)		18.4	18.6	18.6

設立団体の状況		
人口(人)	133,391	
決算規模(千円)	64,723,255	
標準財政規模(千円)	36,943,720	
財政力指数	0.51	
経常収支比率(%)	88.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.1
	将来負担比率(%)	41.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	71.4
修正医業収支金額(千円)	870,399

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,249,708			
1 経常収益	1,244,503			
(1) 医業収益	910,282			
入院収益	736,179			
外来収益	116,884			
診療収入計	853,063			
その他医業収益	57,219			
(うち他会計負担金)	39,883			
(2) 医業外収益	334,221			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	283,137			
(うち長期前受金戻入)	26,510			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,205			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,244,347			
2 経常費用	1,244,246			
(1) 医業費用	1,218,211			
職員給与費	687,581	75.5	56.1	60.1
材料費	56,342	6.2	23.9	18.1
(うち薬品費)	28,557	3.1	12.5	9.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	27,785	3.1	10.9	8.1
減価償却費	76,037	8.4	9.3	10.1
経費	395,649	43.5	23.1	30.4
(うち委託料)	153,676	16.9	11.1	12.5
研究研修費	1,936			
資産減耗費	666			
(2) 医業外費用	26,035			
(うち支払利息)	5,647	0.6	1.8	1.9
(3) 特別損失	101			
損益				
経常損益	257			
純損益	5,361			
累積欠損金	1,483,570			
経常収支比率	100.0		97.9	96.4
医業収支比率	74.7		88.4	83.6
他会計繰入金対経常収益比率	26.0		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	35.5		14.4	19.0
他会計繰入金対総収益比率	25.8		12.4	15.8
実質収益対経常費用比率	74.1		85.8	81.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	34,680,459
1 固定資産	28,553,149
(1) 有形固定資産	27,614,698
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	938,451
2 流動資産	6,127,310
(1) 現金及び預金	2,673,344
(2) 未収金及び未収収益	3,181,133
(3) 貸倒引当金()	15,311
(4) 貯蔵品	287,697
3 繰延資産	-
負債合計	27,913,649
1 固定負債	18,359,137
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,462,241
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,436,140
(7) リース債務	1,460,756
2 流動負債	3,619,581
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,304,290
(2) その他の企業債	806
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	600,699
(6) リース債務	110,461
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,510,906
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,934,931
(1) 長期前受金	7,795,461
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,860,530
資本合計	6,766,810
1 資本金	11,069,544
2 剰余金	-4,302,734
(1) 資本剰余金	1,829
(2) 利益剰余金	-4,304,563
負債・資本合計	34,680,459
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	323,020	323,020
資本勘定繰入	38,436	38,436
計	361,456	361,456

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	21.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	大崎市
	病院名	大崎市民病院岩出山分院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,230 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	4	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	40	74.4	74.0	84.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	74.4	74.0	84.8
平均在院日数(一般病床のみ)		20.1	19.0	19.5

設立団体の状況		
人口(人)	133,391	
決算規模(千円)	64,723,255	
標準財政規模(千円)	36,943,720	
財政力指数	0.51	
経常収支比率(%)	88.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.1
	将来負担比率(%)	41.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	59.0
修正医業収支金額(千円)	452,108

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	741,153			
1 経常収益	732,262			
(1) 医業収益	488,464			
入院収益	249,252			
外来収益	180,719			
診療収入計	429,971			
その他医業収益	58,493			
(うち他会計負担金)	36,356			
(2) 医業外収益	243,798			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	170,711			
(うち長期前受金戻入)	55,180			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,891			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	786,468			
2 経常費用	786,359			
(1) 医業費用	765,980			
職員給与費	383,398	78.5	56.1	77.1
材料費	45,458	9.3	23.9	16.7
(うち薬品費)	22,363	4.6	12.5	10.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	23,095	4.7	10.9	5.1
減価償却費	93,281	19.1	9.3	12.8
経費	242,283	49.6	23.1	40.7
(うち委託料)	87,392	17.9	11.1	16.6
研究研修費	1,408			
資産減耗費	152			
(2) 医業外費用	20,379			
(うち支払利息)	5,588	1.1	1.8	1.8
(3) 特別損失	109			
損益				
経常損益	-54,097			
純損益	-45,315			
累積欠損金	720,830			
経常収支比率	93.1		97.9	96.9
医業収支比率	63.8		88.4	67.1
他会計繰入金対経常収益比率	28.3		12.3	32.4
他会計繰入金対医業収益比率	42.4		14.4	49.6
他会計繰入金対総収益比率	27.9		12.4	32.2
実質収益対経常費用比率	66.8		85.8	65.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	34,680,459
1 固定資産	28,553,149
(1) 有形固定資産	27,614,698
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	938,451
2 流動資産	6,127,310
(1) 現金及び預金	2,673,344
(2) 未収金及び未収収益	3,181,133
(3) 貸倒引当金()	15,311
(4) 貯蔵品	287,697
3 繰延資産	-
負債合計	27,913,649
1 固定負債	18,359,137
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,462,241
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,436,140
(7) リース債務	1,460,756
2 流動負債	3,619,581
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,304,290
(2) その他の企業債	806
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	600,699
(6) リース債務	110,461
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,510,906
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,934,931
(1) 長期前受金	7,795,461
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,860,530
資本合計	6,766,810
1 資本金	11,069,544
2 剰余金	-4,302,734
(1) 資本剰余金	1,829
(2) 利益剰余金	-4,304,563
負債・資本合計	34,680,459
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	207,067	207,067
資本勘定繰入	58,626	58,626
計	265,693	265,693

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	21.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28 年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	大崎市
	病院名	大崎市民病院鹿島台分院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,728 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	6	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	40	64.4	70.1	67.0
療養	30	60.3	71.1	48.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	70	62.7	70.5	59.2
平均在院日数(一般病床のみ)		22.4	23.3	20.6

設立団体の状況		
人口(人)	133,391	
決算規模(千円)	64,723,255	
標準財政規模(千円)	36,943,720	
財政力指数	0.51	
経常収支比率(%)	88.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.1
	将来負担比率(%)	41.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	60.8
修正医業収支金額(千円)	582,314

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	965,890			
1 経常収益	964,029			
(1) 医業収益	618,675			
入院収益	336,941			
外来収益	212,251			
診療収入計	549,192			
その他医業収益	69,483			
(うち他会計負担金)	36,361			
(2) 医業外収益	345,354			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	291,443			
(うち長期前受金戻入)	29,939			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,861			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	983,852			
2 経常費用	983,803			
(1) 医業費用	958,422			
職員給与費	476,975	77.1	56.1	68.5
材料費	56,116	9.1	23.9	17.7
(うち薬品費)	28,167	4.6	12.5	11.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	27,949	4.5	10.9	5.7
減価償却費	93,155	15.1	9.3	12.1
経費	327,954	53.0	23.1	32.0
(うち委託料)	113,357	18.3	11.1	12.2
研究研修費	2,712			
資産減耗費	1,510			
(2) 医業外費用	25,381			
(うち支払利息)	9,183	1.5	1.8	2.3
(3) 特別損失	49			
損益				
経常損益	-19,774			
純損益	-17,962			
累積欠損金	869,769			
経常収支比率	98.0		97.9	98.1
医業収支比率	64.6		88.4	76.4
他会計繰入金対経常収益比率	34.0		12.3	23.1
他会計繰入金対医業収益比率	53.0		14.4	31.6
他会計繰入金対総収益比率	33.9		12.4	23.5
実質収益対経常費用比率	64.7		85.8	75.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	34,680,459
1 固定資産	28,553,149
(1) 有形固定資産	27,614,698
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	938,451
2 流動資産	6,127,310
(1) 現金及び預金	2,673,344
(2) 未収金及び未収収益	3,181,133
(3) 貸倒引当金()	15,311
(4) 貯蔵品	287,697
3 繰延資産	-
負債合計	27,913,649
1 固定負債	18,359,137
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,462,241
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,436,140
(7) リース債務	1,460,756
2 流動負債	3,619,581
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,304,290
(2) その他の企業債	806
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	600,699
(6) リース債務	110,461
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,510,906
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,934,931
(1) 長期前受金	7,795,461
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,860,530
資本合計	6,766,810
1 資本金	11,069,544
2 剰余金	-4,302,734
(1) 資本剰余金	1,829
(2) 利益剰余金	-4,304,563
負債・資本合計	34,680,459
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	324,574	327,804
資本勘定繰入	27,855	27,855
計	352,429	355,659

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	21.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28 年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	蔵王町
				病院名	蔵王町国民健康保険蔵王病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,084 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	2	看護配置	25:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	10	94.1	91.4	96.1
療養	28	99.4	99.6	99.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	38	98.0	97.4	98.7
平均在院日数（一般病床のみ）		29.1	29.1	26.5

設立団体の状況		
人口（人）	12,316	
決算規模（千円）	5,628,629	
標準財政規模（千円）	4,004,886	
財政力指数	0.47	
経常収支比率（%）	89.7	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	5.6
	将来負担比率（%）	0.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	69.1
修正医業収支金額（千円）	275,512

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	414,689			
1 経常収益	414,689			
(1) 医業収益	322,420			
入院収益	190,457			
外来収益	69,287			
診療収入計	259,744			
その他医業収益	62,676			
(うち他会計負担金)	46,908			
(2) 医業外収益	92,269			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	88,406			
(うち長期前受金戻入)	1,470			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	407,801			
2 経常費用	407,801			
(1) 医業費用	398,800			
職員給与費	245,941	76.3	56.1	77.1
材料費	32,934	10.2	23.9	16.7
(うち薬品費)	8,785	2.7	12.5	10.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,067	4.4	10.9	5.1
減価償却費	11,597	3.6	9.3	12.8
経費	107,830	33.4	23.1	40.7
(うち委託料)	59,120	18.3	11.1	16.6
研究研修費	193			
資産減耗費	305			
(2) 医業外費用	9,001			
(うち支払利息)	251	0.1	1.8	1.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	6,888			
純損益	6,888			
累積欠損金	37,667			
経常収支比率	101.7		97.9	96.9
医業収支比率	80.8		88.4	67.1
他会計繰入金対経常収益比率	32.6		12.3	32.4
他会計繰入金対医業収益比率	42.0		14.4	49.6
他会計繰入金対総収益比率	32.6		12.4	32.2
実質収益対経常費用比率	68.5		85.8	65.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	453,933
1 固定資産	153,919
(1) 有形固定資産	153,869
(2) 無形固定資産	50
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	300,014
(1) 現金及び預金	246,961
(2) 未収金及び未収収益	50,620
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	2,433
3 繰延資産	-
負債合計	54,485
1 固定負債	13,466
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,466
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	34,241
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,345
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	16,395
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,501
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,778
(1) 長期前受金	54,364
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	47,586
資本合計	399,448
1 資本金	430,364
2 剰余金	-30,916
(1) 資本剰余金	6,751
(2) 利益剰余金	-37,667
負債・資本合計	453,933
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	100,968	135,314
資本勘定繰入	3,915	3,915
計	104,883	139,229

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	11.7
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	川崎町
	病院名	国民健康保険川崎病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	3,631 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	4	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	30	78.2	69.3	61.5
療養	28	72.6	76.8	79.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	58	75.5	72.5	67.4
平均在院日数(一般病床のみ)		17.5	18.7	23.2

設立団体の状況		
人口(人)	9,167	
決算規模(千円)	4,867,650	
標準財政規模(千円)	3,412,624	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	91.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.2
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	69.3
修正医業収支金額(千円)	532,385

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	796,357			
1 経常収益	795,581			
(1) 医業収益	589,197			
入院収益	326,895			
外来収益	178,148			
診療収入計	505,043			
その他医業収益	84,154			
(うち他会計負担金)	56,812			
(2) 医業外収益	206,384			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	193,258			
(うち長期前受金戻入)	7,247			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	776			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	808,626			
2 経常費用	808,221			
(1) 医業費用	768,731			
職員給与費	402,213	68.3	56.1	68.5
材料費	77,606	13.2	23.9	17.7
(うち薬品費)	42,962	7.3	12.5	11.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	25,888	4.4	10.9	5.7
減価償却費	40,273	6.8	9.3	12.1
経費	245,991	41.8	23.1	32.0
(うち委託料)	87,536	14.9	11.1	12.2
研究研修費	1,665			
資産減耗費	983			
(2) 医業外費用	39,490			
(うち支払利息)	21,916	3.7	1.8	2.3
(3) 特別損失	405			
損益				
経常損益	-12,640			
純損益	-12,269			
累積欠損金	1,265,952			
経常収支比率	98.4		97.9	98.1
医業収支比率	76.6		88.4	76.4
他会計繰入金対経常収益比率	31.4		12.3	23.1
他会計繰入金対医業収益比率	42.4		14.4	31.6
他会計繰入金対総収益比率	31.4		12.4	23.5
実質収益対経常費用比率	67.5		85.8	75.4

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	949,327
1 固定資産	822,299
(1) 有形固定資産	821,828
(2) 無形固定資産	471
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	127,028
(1) 現金及び預金	36,951
(2) 未収金及び未収収益	86,714
(3) 貸倒引当金()	1,599
(4) 貯蔵品	4,962
3 繰延資産	-
負債合計	816,748
1 固定負債	480,328
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	448,793
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	31,535
(7) リース債務	-
2 流動負債	130,717
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	63,501
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	29,980
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	33,052
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	205,703
(1) 長期前受金	497,689
(2) 長期前受金収益化累計額()	291,986
資本合計	132,579
1 資本金	1,318,219
2 剰余金	-1,185,640
(1) 資本金剰余金	80,312
(2) 利益剰余金	-1,265,952
負債・資本合計	949,327
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	250,070	250,070
資本勘定繰入	38,386	38,386
計	288,456	288,456

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	214.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28 年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	丸森町
				病院名	丸森町国民健康保険丸森病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,360 m ²	指定病院の状況	救臨		
診療科数	5	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	55	78.1	73.9	71.9
療養	35	78.4	73.5	77.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	78.2	73.7	74.2
平均在院日数(一般病床のみ)		21.6	21.6	23.5

設立団体の状況		
人口(人)	13,972	
決算規模(千円)	8,623,696	
標準財政規模(千円)	5,180,675	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	87.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	62.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.9
修正医業収支金額(千円)	902,821

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,165,354			
1 経常収益	1,165,354			
(1) 医業収益	994,363			
入院収益	509,667			
外来収益	284,448			
診療収入計	794,115			
その他医業収益	200,248			
(うち他会計負担金)	91,542			
(2) 医業外収益	170,991			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	156,122			
(うち長期前受金戻入)	7,614			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,111,005			
2 経常費用	1,110,252			
(1) 医業費用	1,039,201			
職員給与費	455,718	45.8	56.1	68.5
材料費	99,633	10.0	23.9	17.7
(うち薬品費)	38,991	3.9	12.5	11.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	59,547	6.0	10.9	5.7
減価償却費	50,801	5.1	9.3	12.1
経費	430,656	43.3	23.1	32.0
(うち委託料)	194,699	19.6	11.1	12.2
研究研修費	1,565			
資産減耗費	828			
(2) 医業外費用	71,051			
(うち支払利息)	32,263	3.2	1.8	2.3
(3) 特別損失	753			
損益				
経常損益	55,102			
純損益	54,349			
累積欠損金	-			
経常収支比率	105.0		97.9	98.1
医業収支比率	95.7		88.4	76.4
他会計繰入金対経常収益比率	21.3		12.3	23.1
他会計繰入金対医業収益比率	24.9		14.4	31.6
他会計繰入金対総収益比率	21.3		12.4	23.5
実質収益対経常費用比率	82.7		85.8	75.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,849,397
1 固定資産	1,400,668
(1) 有形固定資産	1,400,607
(2) 無形固定資産	61
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	448,729
(1) 現金及び預金	276,221
(2) 未収金及び未収収益	171,556
(3) 貸倒引当金()	350
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,200,553
1 固定負債	951,432
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	919,752
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	21,487
(7) リース債務	10,193
2 流動負債	181,975
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	93,282
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	35,598
(6) リース債務	2,780
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	45,213
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	67,146
(1) 長期前受金	616,337
(2) 長期前受金収益化累計額()	549,191
資本合計	648,844
1 資本金	575,259
2 剰余金	73,585
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	73,585
負債・資本合計	1,849,397
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	234,451	247,664
資本勘定繰入	82,336	82,336
計	316,787	330,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28 年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	涌谷町
				病院名	涌谷町国民健康保険病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,569 m ²	指定病院の状況	救臨	へ	輪
診療科数	12	看護配置	10	:	1
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	80	77.1	69.1	72.7
療養	41	87.5	81.7	73.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	121	80.6	73.4	73.0
平均在院日数(一般病床のみ)		19.9	20.2	19.6

設立団体の状況		
人口(人)	16,701	
決算規模(千円)	7,455,908	
標準財政規模(千円)	4,844,282	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	75.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.3
修正医業収支金額(千円)	1,668,872

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,003,446			
1 経常収益	2,003,446			
(1) 医業収益	1,791,776			
入院収益	859,483			
外来収益	713,625			
診療収入計	1,573,108			
その他医業収益	218,668			
(うち他会計負担金)	122,904			
(2) 医業外収益	211,670			
(うち国・都道府県補助金)	215			
(うち他会計補助・負担金)	166,354			
(うち長期前受金戻入)	30,097			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,132,397			
2 経常費用	2,132,397			
(1) 医業費用	2,052,649			
職員給与費	1,010,623	56.4	56.1	60.1
材料費	474,158	26.5	23.9	18.1
(うち薬品費)	381,594	21.3	12.5	9.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	71,177	4.0	10.9	8.1
減価償却費	130,638	7.3	9.3	10.1
経費	429,277	24.0	23.1	30.4
(うち委託料)	135,103	7.5	11.1	12.5
研究研修費	3,744			
資産減耗費	4,209			
(2) 医業外費用	79,748			
(うち支払利息)	21,082	1.2	1.8	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-128,951			
純損益	-128,951			
累積欠損金	1,028,142			
経常収支比率	94.0		97.9	96.4
医業収支比率	87.3		88.4	83.6
他会計繰入金対経常収益比率	14.4		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	16.1		14.4	19.0
他会計繰入金対総収益比率	14.4		12.4	15.8
実質収益対経常費用比率	80.4		85.8	81.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,927,047
1 固定資産	1,579,866
(1) 有形固定資産	1,578,646
(2) 無形固定資産	1,220
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	347,181
(1) 現金及び預金	79,073
(2) 未収金及び未収収益	257,152
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	10,956
3 繰延資産	-
負債合計	1,648,467
1 固定負債	963,679
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	963,679
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	327,735
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	185,390
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	55,219
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	87,126
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	357,053
(1) 長期前受金	602,992
(2) 長期前受金収益化累計額()	245,939
資本合計	278,580
1 資本金	1,274,536
2 剰余金	-995,956
(1) 資本金剰余金	32,186
(2) 利益剰余金	-1,028,142
負債・資本合計	1,927,047
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	203,723	289,258
資本勘定繰入	100,145	197,286
計	303,868	486,544

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	57.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	美里町
	病院名	美里町立南郷病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	50	72.3	57.4	60.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	72.3	57.4	60.8
平均在院日数(一般病床のみ)		33.9	26.8	25.4

設立団体の状況		
人口(人)	24,852	
決算規模(千円)	9,955,036	
標準財政規模(千円)	7,069,028	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	89.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.0
	将来負担比率(%)	64.8

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	2,899 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	5	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	72.4
修正医業収支金額(千円)	471,582

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	679,998			
1 経常収益	679,998			
(1) 医業収益	507,876			
入院収益	255,354			
外来収益	164,038			
診療収入計	419,392			
その他医業収益	88,484			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	172,122			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	143,706			
(うち長期前受金戻入)	26,875			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	695,160			
2 経常費用	695,160			
(1) 医業費用	651,429			
職員給与費	298,911	58.9	56.1	68.5
材料費	84,359	16.6	23.9	17.7
(うち薬品費)	51,640	10.2	12.5	11.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	32,719	6.4	10.9	5.7
減価償却費	46,540	9.2	9.3	12.1
経費	218,798	43.1	23.1	32.0
(うち委託料)	66,139	13.0	11.1	12.2
研究研修費	461			
資産減耗費	2,360			
(2) 医業外費用	43,731			
(うち支払利息)	22,372	4.4	1.8	2.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-15,162			
純損益	-15,162			
累積欠損金	492,090			
経常収支比率	97.8		97.9	98.1
医業収支比率	78.0		88.4	76.4
他会計繰入金対経常収益比率	26.5		12.3	23.1
他会計繰入金対医業収益比率	35.4		14.4	31.6
他会計繰入金対総収益比率	26.5		12.4	23.5
実質収益対経常費用比率	71.9		85.8	75.4

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,177,199
1 固定資産	879,302
(1) 有形固定資産	879,302
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	297,897
(1) 現金及び預金	226,496
(2) 未収金及び未収収益	68,553
(3) 貸倒引当金()	10
(4) 貯蔵品	2,757
3 繰延資産	-
負債合計	754,469
1 固定負債	561,381
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	561,381
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	132,697
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	76,653
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	20,853
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	32,497
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	60,391
(1) 長期前受金	141,043
(2) 長期前受金収益化累計額()	80,652
資本合計	422,730
1 資本金	914,820
2 剰余金	-492,090
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-492,090
負債・資本合計	1,177,199
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	193,220	180,000
資本勘定繰入	50,651	50,651
計	243,871	230,651

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	96.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)		都道府県名	宮城県
		市町村・組合名	女川町
		病院名	女川町立病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	6,334	
決算規模(千円)	62,366,974	
標準財政規模(千円)	3,632,444	
財政力指数	0.99	
経常収支比率(%)	86.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,448			
1 経常収益	7,448			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	7,448			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,448			
2 経常費用	7,448			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.1	68.5
材料費	-	-	23.9	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.5	11.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	5.7
減価償却費	-	-	9.3	12.1
経費	-	-	23.1	32.0
(うち委託料)	-	-	11.1	12.2
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	7,448			
(うち支払利息)	7,448	-	1.8	2.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.9	98.1
医業収支比率	-		88.4	76.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	23.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.4	31.6
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	23.5
実質収益対経常費用比率	100.0		85.8	75.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28 年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	南三陸町
				病院名	南三陸病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,554 m ²	指定病院の状況	救臨 輪		
診療科数	10	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	40	80.9	72.3	74.3
療養	50	89.5	56.5	90.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	85.7	65.4	79.5
平均在院日数（一般病床のみ）		18.1	19.3	20.6

設立団体の状況		
人口（人）	12,370	
決算規模（千円）	43,592,497	
標準財政規模（千円）	5,330,695	
財政力指数	0.29	
経常収支比率（%）	85.3	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.3
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	60.3
修正医業収支金額（千円）	1,135,485

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,740,601			
1 経常収益	1,739,675			
(1) 医業収益	1,185,485			
入院収益	652,754			
外来収益	436,051			
診療収入計	1,088,805			
その他医業収益	96,680			
(うち他会計負担金)	50,000			
(2) 医業外収益	554,190			
(うち国・都道府県補助金)	18			
(うち他会計補助・負担金)	200,000			
(うち長期前受金戻入)	342,468			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	926			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,015,166			
2 経常費用	2,008,150			
(1) 医業費用	1,881,832			
職員給与費	871,323	73.5	56.1	68.5
材料費	161,344	13.6	23.9	17.7
(うち薬品費)	54,506	4.6	12.5	11.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	89,854	7.6	10.9	5.7
減価償却費	369,166	31.1	9.3	12.1
経費	475,131	40.1	23.1	32.0
(うち委託料)	194,111	16.4	11.1	12.2
研究研修費	4,308			
資産減耗費	560			
(2) 医業外費用	126,318			
(うち支払利息)	4,824	0.4	1.8	2.3
(3) 特別損失	7,016			
損益				
経常損益	-268,475			
純損益	-274,565			
累積欠損金	2,930,560			
経常収支比率	86.6		97.9	98.1
医業収支比率	63.0		88.4	76.4
他会計繰入金対経常収益比率	14.4		12.3	23.1
他会計繰入金対医業収益比率	21.1		14.4	31.6
他会計繰入金対総収益比率	14.4		12.4	23.5
実質収益対経常費用比率	74.2		85.8	75.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	5,947,867
1 固定資産	5,595,702
(1) 有形固定資産	5,174,475
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	421,227
2 流動資産	352,165
(1) 現金及び預金	161,639
(2) 未収金及び未収収益	186,202
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	4,324
3 繰延資産	-
負債合計	5,830,958
1 固定負債	308,275
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	308,275
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	105,697
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	30,865
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	74,832
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,416,986
(1) 長期前受金	5,942,829
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	525,843
資本合計	116,909
1 資本金	3,019,720
2 剰余金	-2,902,811
(1) 資本剰余金	27,749
(2) 利益剰余金	-2,930,560
負債・資本合計	5,947,867
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	250,000	250,000
資本勘定繰入	-	40,645
計	250,000	290,645

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	247.2
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	61,807
地財法上の資金不足比率（%）	5.2

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	白石市外二町組合
	病院名	公立刈田総合病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	26,164 m ²	指定病院の状況	救感災輪
診療科数	19	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	300	60.1	59.9	63.7
療養	-	-	-	-
結核	4	0.3	1.1	2.4
精神	-	-	-	-
感染症	4	1.4	-	-
計	308	58.5	58.4	62.1
平均在院日数(一般病床のみ)		16.7	15.9	17.0

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	2,860	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	119.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	72.8
修正医業収支金額(千円)	4,135,231

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,261,338			
1 経常収益	5,261,338			
(1) 医業収益	4,407,359			
入院収益	2,647,385			
外来収益	1,304,728			
診療収入計	3,952,113			
その他医業収益	455,246			
(うち他会計負担金)	272,128			
(2) 医業外収益	853,979			
(うち国・都道府県補助金)	8,348			
(うち他会計補助・負担金)	721,388			
(うち長期前受金戻入)	56,562			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,008,071			
2 経常費用	5,981,936			
(1) 医業費用	5,677,077			
職員給与費	2,557,904	58.0	56.1	56.5
材料費	647,139	14.7	23.9	24.1
(うち薬品費)	315,616	7.2	12.5	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	331,523	7.5	10.9	11.4
減価償却費	726,732	16.5	9.3	9.1
経費	1,721,347	39.1	23.1	21.6
(うち委託料)	628,442	14.3	11.1	10.6
研究研修費	21,536			
資産減耗費	2,419			
(2) 医業外費用	304,859			
(うち支払利息)	167,326	3.8	1.8	2.0
(3) 特別損失	26,135			
損益				
経常損益	-720,598			
純損益	-746,733			
累積欠損金	13,403,832			
経常収支比率	88.0		97.9	96.7
医業収支比率	77.6		88.4	89.3
他会計繰入金対経常収益比率	18.9		12.3	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	22.5		14.4	12.6
他会計繰入金対総収益比率	18.9		12.4	11.0
実質収益対経常費用比率	71.3		85.8	86.1

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,026,079
1 固定資産	6,967,761
(1) 有形固定資産	6,812,161
(2) 無形固定資産	2,029
(3) 投資その他の資産	153,571
2 流動資産	1,058,318
(1) 現金及び預金	235,787
(2) 未収金及び未収収益	757,096
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	65,435
3 繰延資産	-
負債合計	10,719,982
1 固定負債	8,485,800
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,970,470
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	439,688
(7) リース債務	75,642
2 流動負債	1,615,412
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	784,445
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	167,192
(6) リース債務	38,781
(7) 一時借入金	350,000
(8) 未払金及び未払費用	234,097
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	618,770
(1) 長期前受金	1,276,606
(2) 長期前受金収益化累計額()	657,836
資本合計	-2,693,903
1 資本金	10,680,139
2 剰余金	-13,374,042
(1) 資本剰余金	1,050
(2) 利益剰余金	-13,375,092
負債・資本合計	8,026,079
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	2,693,903
資本不足額(繰延収益控除後)()	2,075,133
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	937,804	993,516
資本勘定繰入	406,862	667,597
計	1,344,666	1,661,113

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	304.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	黒川地域行政事務組合
	病院名	公立黒川病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	10,025 m ²	指定病院の状況	救臨 へ
診療科数	15	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	110	67.7	69.8	66.8
療養	60	78.8	76.8	75.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	170	71.6	72.3	69.8
平均在院日数(一般病床のみ)		16.1	16.6	15.9

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	2,730,228	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	69.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.0
修正医業収支金額(千円)	2,862,581

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,092,348			
1 経常収益	3,089,281			
(1) 医業収益	2,872,581			
入院収益	1,547,463			
外来収益	1,178,953			
診療収入計	2,726,416			
その他医業収益	146,165			
(うち他会計負担金)	10,000			
(2) 医業外収益	216,700			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	178,957			
(うち長期前受金戻入)	21,463			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,067			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,255,148			
2 経常費用	3,255,148			
(1) 医業費用	3,181,853			
職員給与費	22,544	0.8	56.1	60.1
材料費	-	-	23.9	18.1
(うち薬品費)	-	-	12.5	9.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	8.1
減価償却費	134,438	4.7	9.3	10.1
経費	3,021,196	105.2	23.1	30.4
(うち委託料)	2,968,626	103.3	11.1	12.5
研究研修費	-			
資産減耗費	3,675			
(2) 医業外費用	73,295			
(うち支払利息)	66,217	2.3	1.8	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-165,867			
純損益	-162,800			
累積欠損金	2,859,787			
経常収支比率	94.9		97.9	96.4
医業収支比率	90.3		88.4	83.6
他会計繰入金対経常収益比率	6.1		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	6.6		14.4	19.0
他会計繰入金対総収益比率	6.1		12.4	15.8
実質収益対経常費用比率	89.1		85.8	81.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,601,538
1 固定資産	3,669,149
(1) 有形固定資産	3,669,149
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	932,389
(1) 現金及び預金	17,864
(2) 未収金及び未収収益	454,525
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,321,252
1 固定負債	2,119,711
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,108,311
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,300
(7) リース債務	1,100
2 流動負債	651,624
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	255,867
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,573
(6) リース債務	803
(7) 一時借入金	295,000
(8) 未払金及び未払費用	97,381
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	549,917
(1) 長期前受金	738,863
(2) 長期前受金収益化累計額()	188,946
資本合計	1,280,286
1 資本金	4,140,073
2 剰余金	-2,859,787
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,859,787
負債・資本合計	4,601,538
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	73,829	188,957
資本勘定繰入	147,680	233,328
計	221,509	422,285

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	99.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	加美郡保健医療福祉行政事務組合
	病院名	公立加美病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	7,804 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	8	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	40	83.0	82.3	82.6
療養	50	79.8	76.4	71.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	81.3	79.0	76.6
平均在院日数(一般病床のみ)		19.5	18.9	17.2

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	759,857	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	112.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,439,135			
1 経常収益	1,439,135			
(1) 医業収益	1,013,885			
入院収益	579,842			
外来収益	280,935			
診療収入計	860,777			
その他医業収益	153,108			
(うち他会計負担金)	54,791			
(2) 医業外収益	425,250			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	250,605			
(うち長期前受金戻入)	173,533			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,496,625			
2 経常費用	1,496,625			
(1) 医業費用	1,431,545			
職員給与費	736,217	72.6	56.1	68.5
材料費	132,316	13.1	23.9	17.7
(うち薬品費)	49,437	4.9	12.5	11.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	81,658	8.1	10.9	5.7
減価償却費	181,935	17.9	9.3	12.1
経費	377,362	37.2	23.1	32.0
(うち委託料)	154,523	15.2	11.1	12.2
研究研修費	1,688			
資産減耗費	2,027			
(2) 医業外費用	65,080			
(うち支払利息)	33,894	3.3	1.8	2.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-57,490			
純損益	-57,490			
累積欠損金	1,828,402			
経常収支比率	96.2		97.9	98.1
医業収支比率	70.8		88.4	76.4
他会計繰入金対経常収益比率	21.2		12.3	23.1
他会計繰入金対医業収益比率	30.1		14.4	31.6
他会計繰入金対総収益比率	21.2		12.4	23.5
実質収益対経常費用比率	75.8		85.8	75.4

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,002,417
1 固定資産	1,818,634
(1) 有形固定資産	1,818,195
(2) 無形固定資産	439
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	183,783
(1) 現金及び預金	20,344
(2) 未収金及び未収収益	153,664
(3) 貸倒引当金()	1,514
(4) 貯蔵品	11,289
3 繰延資産	-
負債合計	2,243,036
1 固定負債	1,505,369
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,505,369
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	298,919
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	164,872
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	50,379
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	83,668
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	438,748
(1) 長期前受金	1,398,399
(2) 長期前受金収益化累計額()	959,651
資本合計	-240,619
1 資本金	1,508,342
2 剰余金	-1,748,961
(1) 資本金剰余金	79,441
(2) 利益剰余金	-1,828,402
負債・資本合計	2,002,417
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	240,619
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	67.0
修正医業収支金額(千円)	959,094

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	202,348	305,396
資本勘定繰入	103,152	167,525
計	305,500	472,921

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	180.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	みやぎ県南中核病院企業団
	病院名	みやぎ県南中核病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	26,364 m ²	指定病院の状況	救臨がへ災地輪
診療科数	31	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	310	78.2	78.8	81.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	310	78.2	78.8	81.6
平均在院日数(一般病床のみ)		11.9	11.5	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.0
修正医業収支金額(千円)	7,758,861

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,756,678			
1 経常収益	8,756,678			
(1) 医業収益	8,183,694			
入院収益	4,959,278			
外来収益	2,488,073			
診療収入計	7,447,351			
その他医業収益	736,343			
(うち他会計負担金)	424,833			
(2) 医業外収益	572,984			
(うち国・都道府県補助金)	111,706			
(うち他会計補助・負担金)	307,016			
(うち長期前受金戻入)	68,322			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,791,819			
2 経常費用	9,789,005			
(1) 医業費用	9,234,886			
職員給与費	4,034,506	49.3	56.1	56.5
材料費	1,899,052	23.2	23.9	24.1
(うち薬品費)	1,072,959	13.1	12.5	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	826,093	10.1	10.9	11.4
減価償却費	893,814	10.9	9.3	9.1
経費	2,351,875	28.7	23.1	21.6
(うち委託料)	993,922	12.1	11.1	10.6
研究研修費	37,339			
資産減耗費	18,300			
(2) 医業外費用	554,119			
(うち支払利息)	193,113	2.4	1.8	2.0
(3) 特別損失	2,814			
損益				
経常損益	-1,032,327			
純損益	-1,035,141			
累積欠損金	12,297,192			
経常収支比率	89.5		97.9	96.7
医業収支比率	88.6		88.4	89.3
他会計繰入金対経常収益比率	8.4		12.3	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	8.9		14.4	12.6
他会計繰入金対総収益比率	8.4		12.4	11.0
実質収益対経常費用比率	82.0		85.8	86.1

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,907,016
1 固定資産	9,315,963
(1) 有形固定資産	9,315,963
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,591,053
(1) 現金及び預金	83,714
(2) 未収金及び未収収益	1,314,333
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	193,006
3 繰延資産	-
負債合計	12,651,156
1 固定負債	8,970,385
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,885,649
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	84,736
2 流動負債	2,508,721
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	794,095
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	254,935
(6) リース債務	76,955
(7) 一時借入金	680,000
(8) 未払金及び未払費用	702,736
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,172,050
(1) 長期前受金	1,706,839
(2) 長期前受金収益化累計額()	534,789
資本合計	-1,744,140
1 資本金	10,538,947
2 剰余金	-12,283,087
(1) 資本金剰余金	14,105
(2) 利益剰余金	-12,297,192
負債・資本合計	10,907,016
不良債務	123,573
実質資金不足額	123,573
資本不足額()	1,744,140
資本不足額(繰延収益控除後)()	572,090
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	643,884	731,849
資本勘定繰入	536,650	867,598
計	1,180,534	1,599,447

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	123,573	1.5
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	150.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。